

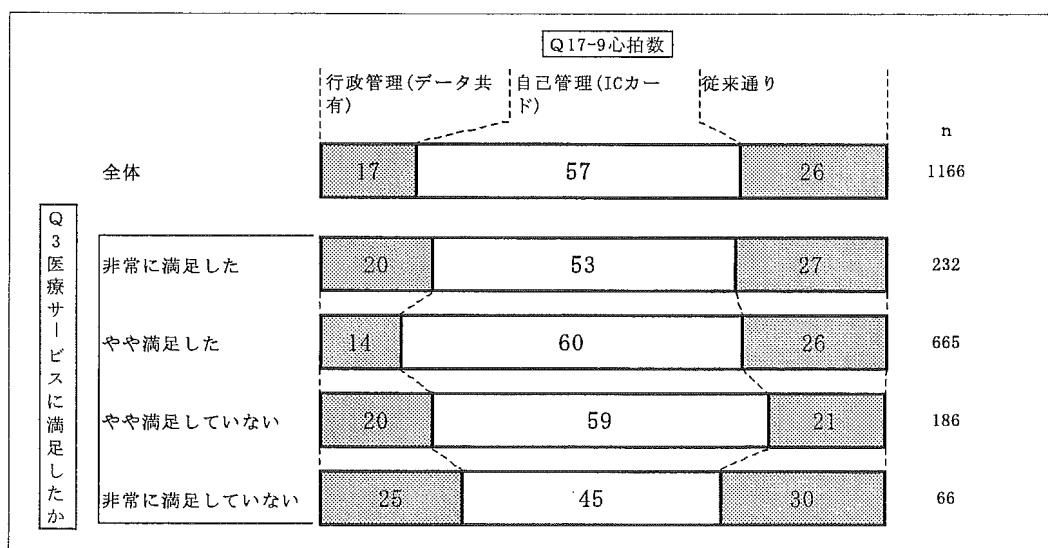
問3「満足」と問17-9「心拍数」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。心拍数については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-9心拍数				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	170 16.9	578 57.3	260 25.8	158	
Q3に満足した医療サービスか	非常に満足した	232 100.0	41 19.9	110 53.4	55 26.7	26
	やや満足した	665 100.0	83 14.3	344 59.3	153 26.4	85
	やや満足していない	186 100.0	31 20.3	90 58.8	32 20.9	33
	非常に満足していない	66 100.0	14 24.6	26 45.6	17 29.8	9



<考察>

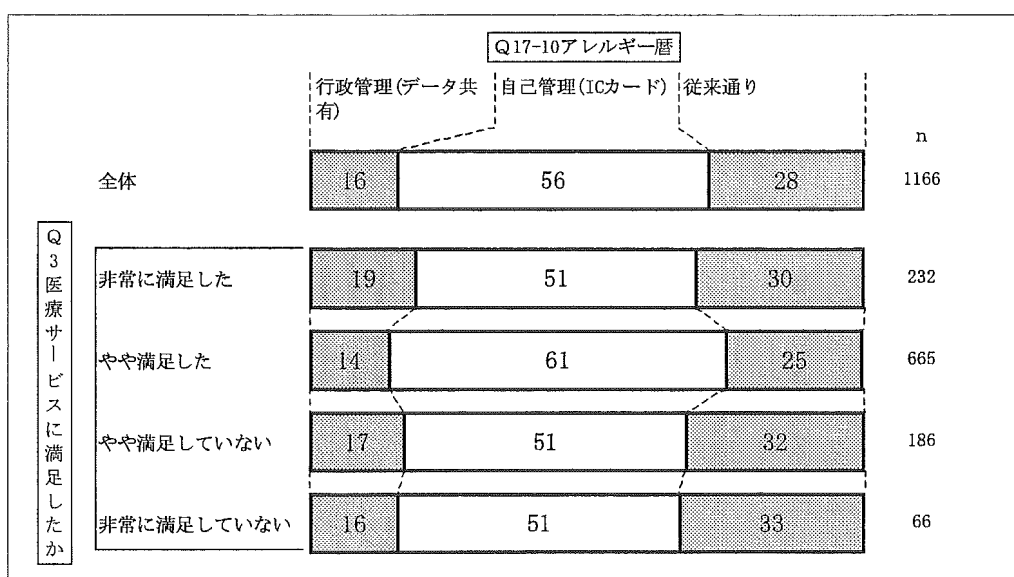
「心拍数」に関しては、全体的な数値は「血圧」・「尿検査」と類似しており、やはり自己管理による情報管理が全体では高い。この項目に関しても「血圧」と同様、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。この原因の一つとして、共有化による情報の漏えいの不安が大きく関係しているのではないかと考えられる。患者はプライバシー性の高い情報の共有化は望んでいないことが伺える。

問3「満足」と問17-10「アレルギー歴」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。 -アレルギー歴については」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q17-10アレルギー歴			不明
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	
全体		1166 100.0	157 15.6	568 56.5	281 27.9	160
Q3 医療 サ ー ビ ス に 満 足 し た か	非常に満足した	232 100.0	39 19.1	104 51.0	61 29.9	28
	やや満足した	665 100.0	82 14.1	353 60.8	146 25.1	84
	やや満足していない	186 100.0	26 17.1	78 51.3	48 31.6	34
	非常に満足していない	66 100.0	9 15.8	29 50.9	19 33.3	9



<考察>

「アレルギー歴」の情報管理に関して、自己管理が高い値を示しており、また、従来通りの割合も行政管理の値よりも高いことがわかる。また、自己管理と従来通りの割合を合わせて見てみると80%を超えている。この項目に関しても、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。

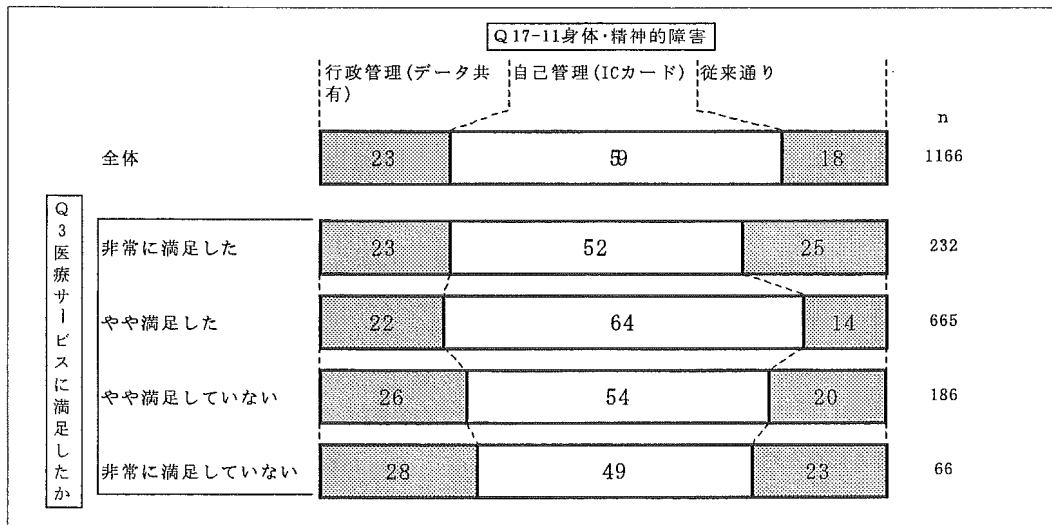
行政管理に注目してみると、満足する・満足しないに関わらず低い値となっている。共有化による情報の漏えいの不安のためか、患者はプライバシーの高い情報の共有化は望んでいないことが伺えよう。

問3「満足」と問17-11「身体・精神的障害」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー身体・精神的障害については」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-11身体・精神的障害				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	232 23.1	592 58.8	182 18.1	160	
Q3に満足した医療サービスか	非常に満足した	232 100.0	47 23.0	106 52.0	51 25.0	28
	やや満足した	665 100.0	128 22.1	371 64.0	81 14.0	85
	やや満足していない	186 100.0	40 26.1	83 54.2	30 19.6	33
	非常に満足していない	66 100.0	16 28.1	28 49.1	13 22.8	9



<考察>

「身体・精神的障害」の情報管理に関しては、全体で見ると、自己管理による情報管理を望む人が多いことがわかる。また、行政管理の割合が従来通りの割合よりも高く、中でも満足していない人の中での割合が高くなっている。

やや満足した人達は、自己管理を支持しており、満足していない人達は比較的行政管理を支持している。従来通りの方法より、少なからずサービスの向上を望んでいるようである。

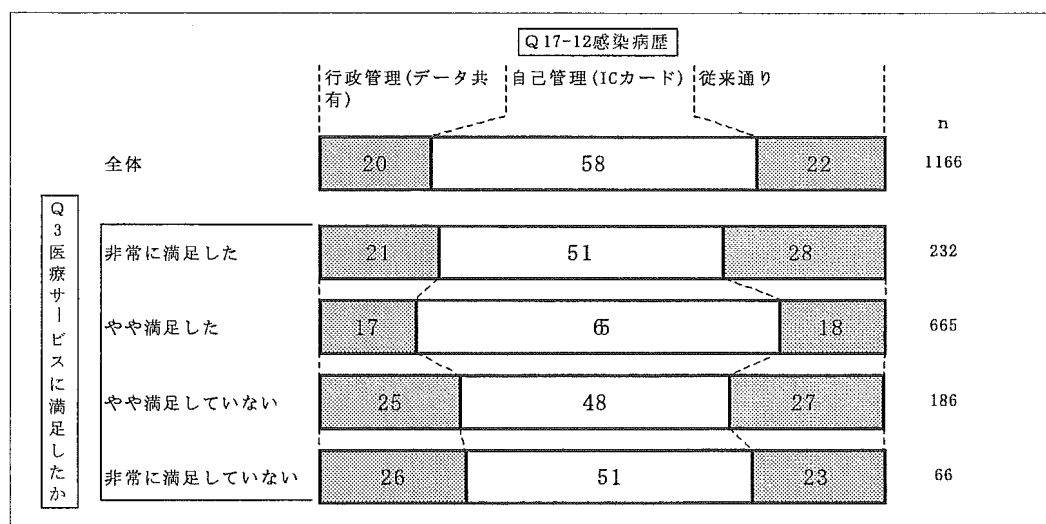
問3「満足」と問17-12「感染病歴」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。ー感染病歴については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q17-12感染病歴			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	196 19.5	588 58.6	220 21.9	162
Q3 医療 サー ビス に 満 足 し た か	非常に満足した	232 100.0	43 21.2	104 51.2	56 27.6	29
	やや満足した	665 100.0	99 17.1	377 65.1	103 17.8	86
	やや満足していない	186 100.0	38 24.8	74 48.4	41 26.8	33
	非常に満足していない	66 100.0	15 26.3	29 50.9	13 22.8	9



<考察>

「感染病歴」の情報管理については、全体では、自己管理の割合が60%と大きくなっており、その他の、行政管理と従来通りの割合はほぼ同じ値となっていることがわかる。

そして、自己管理に注目してみると、やや満足した人の割合が他に比べて大変高いことがわかる。「感染病歴」については、プライバシーが高いと考えられるためか、自己管理が支持されている。

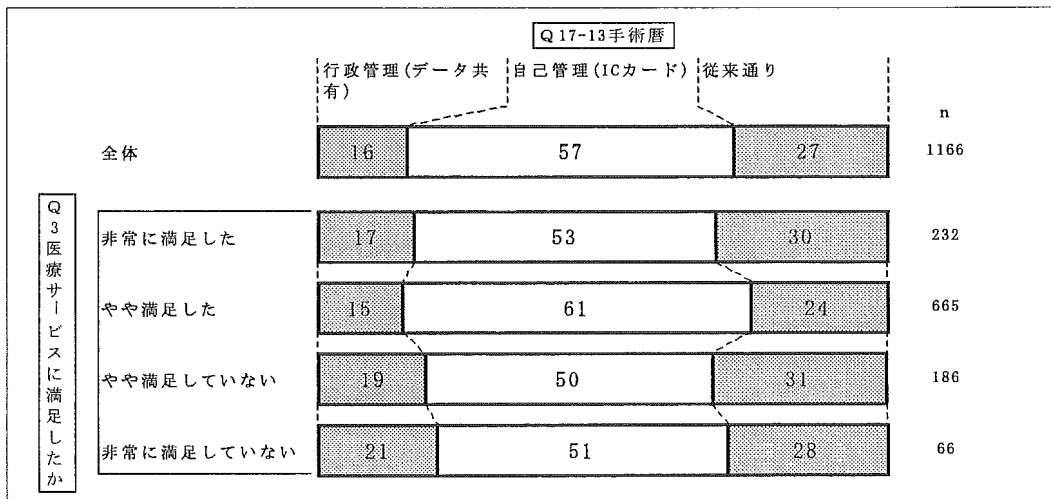
問3「満足」と問17-13「手術歴」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。—手術歴については」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-13手術歴				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	165 16.4	568 56.4	274 27.2	159	
Q3に満足したか 医療サービス	非常に満足した	232 100.0	34 16.7	108 52.9	62 30.4	28
	やや満足した	665 100.0	89 15.3	352 60.6	140 24.1	84
	やや満足していない	186 100.0	29 19.0	76 49.7	48 31.4	33
	非常に満足していない	66 100.0	12 21.1	29 50.9	16 28.1	9



<考察>

「手術歴」の情報管理方法としては、全体では自己管理の割合が高く支持されている。そして、自己管理と従来通りの割合を合わせてみると、85%近い値になっており、情報の共有化の必要性は低いと考えられる。

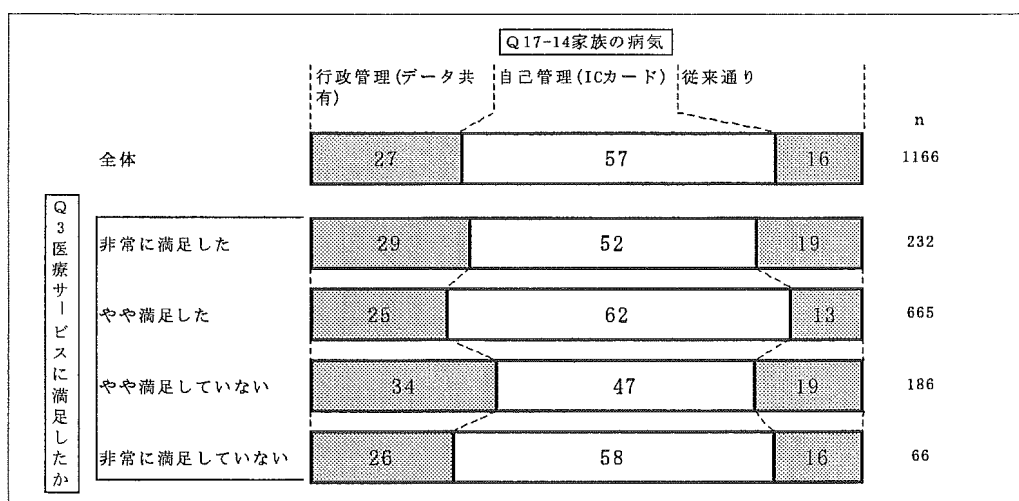
共有化は情報の漏えいの不安があるため、患者はプライバシーが高いと考えられる「手術歴」に関しては、共有化をそれほど望んでいないことが伺える。また、自己管理が主に支持されているが、中でもやや満足して人達によって支持されている。

問3「満足」と問17-14「家族の病気」のクロス集計分析

質問方法：

「どのように自分の情報を管理したいですか。一家族の病気については」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q17-14 家族の病気				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	274 27.3	574 57.1	157 15.6	161	
Q22 医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	59 28.9	106 52.0	39 19.1	28
	やや満足した	665 100.0	147 25.3	359 61.9	74 12.8	85
	やや満足していない	186 100.0	51 33.6	72 47.4	29 19.1	34
	非常に満足していない	66 100.0	15 26.3	33 57.9	9 15.8	9



考察

「家族の病気」の管理方法としては、全体では、自己管理の割合が高くなっており、特にやや満足した人達によって支持されている。また、行政管理の割合が従来通りの割合に比べ高くなっていることがわかる。

自己管理と行政管理を合わせた割合を見てみると約85%あり、一方で従来通りの割合は約16%と、患者は「家族の病気」の情報管理に関しては、何らかのサービスの向上を望んでいることが伺えられる。

問3「満足」と問18-1「医師の所見」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。－医師の所見について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q18-1医師の所見				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	232 20.3	563 49.3	347 30.4	24	
Q3に満足したか	非常に満足した	232 100.0	43 19.2	109 48.7	72 32.1	8
	やや満足した	665 100.0	123 18.8	334 51.0	198 30.2	10
	やや満足していない	186 100.0	46 25.0	86 46.7	52 28.3	2
	非常に満足していない	66 100.0	17 26.2	29 44.6	19 29.2	1

		Q18-1医師の所見			
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	n
全体		20	50	30	1166
Q3医療サービスに満足したか	非常に満足した	19	49	32	232
	やや満足した	19	51	30	665
	やや満足していない	25	47	28	186
	非常に満足していない	26	45	29	66

<考察>

「医師の所見」の管理方法としては、全体で見ると、行政管理・自己管理の割合より自己管理・従来通りの割合が高く、患者はどちらかといえば医療サービスの向上よりも情報の保護を望んでいると考えられる。

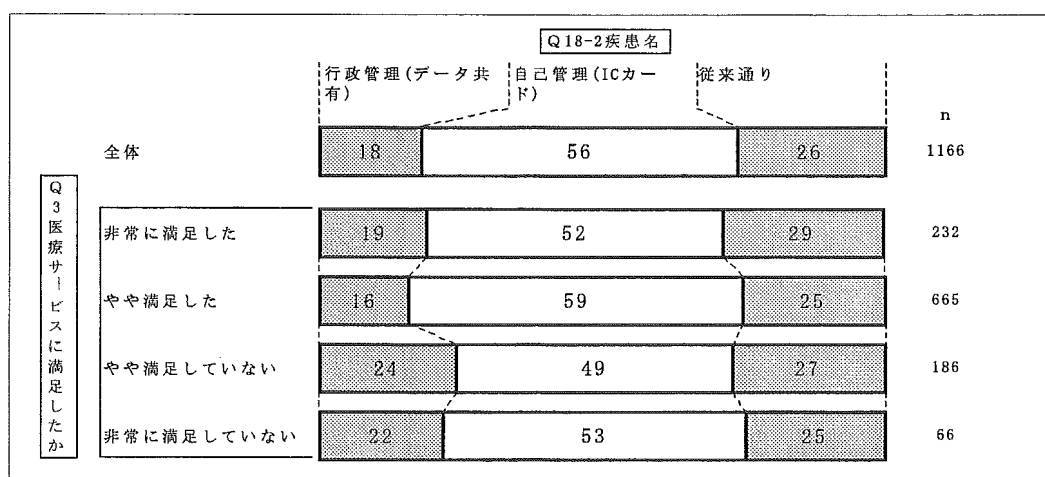
ただし、やや満足をしていない・非常に満足していない人達の回答の割合を見ると満足している人達に比べて行政管理の割合が若干高いことがわかる。

問3「満足」と問18-2「疾患名」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。ー疾患名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q18-2疾患名			
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	209 18.4	629 55.3	299 26.3	29
Q3医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	43 19.2	116 51.8	65 29.0	8
	やや満足した	665 100.0	105 16.1	382 58.5	166 25.4	12
	やや満足していない	186 100.0	43 23.8	90 49.7	48 26.5	5
	非常に満足していない	66 100.0	14 21.5	35 53.8	16 24.6	1



<考察>

「疾患名」の情報管理に関して、全体では自己管理の割合が高い値になっており、特にやや満足した人によって支持されている。また、従来通りの割合が行政管理の割合よりも高くなっている。

自己管理と従来通りを合わせた割合を見ると80%を超えており、このことから「疾患名」については情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。これは「疾患名」はプライバシーが高いと考えられ、共有化には情報の漏えいの不安があるため、共有化をそれほど望んでいないと考えられるからである。

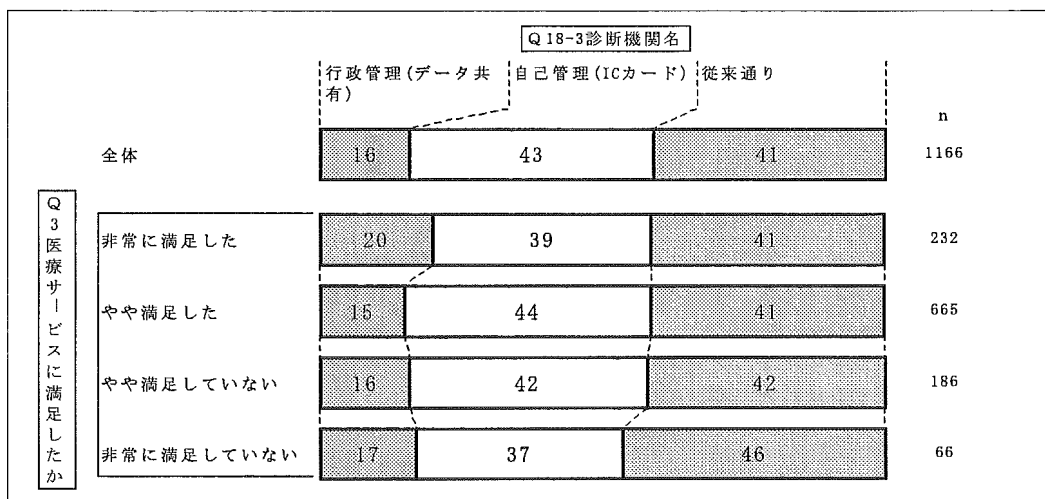


問3「満足」と問18-3「診断機関名」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。－診断機関名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q18-3診断機関名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	184 16.1	486 42.5	473 41.4	23	
Q3に満足したか	非常に満足した	232 100.0	45 20.0	88 39.1	92 40.9	7
	やや満足した	665 100.0	95 14.5	291 44.4	269 41.1	10
	やや満足していない	186 100.0	29 15.8	78 42.4	77 41.8	2
	非常に満足していない	66 100.0	11 16.9	24 36.9	30 46.2	1



<考察>

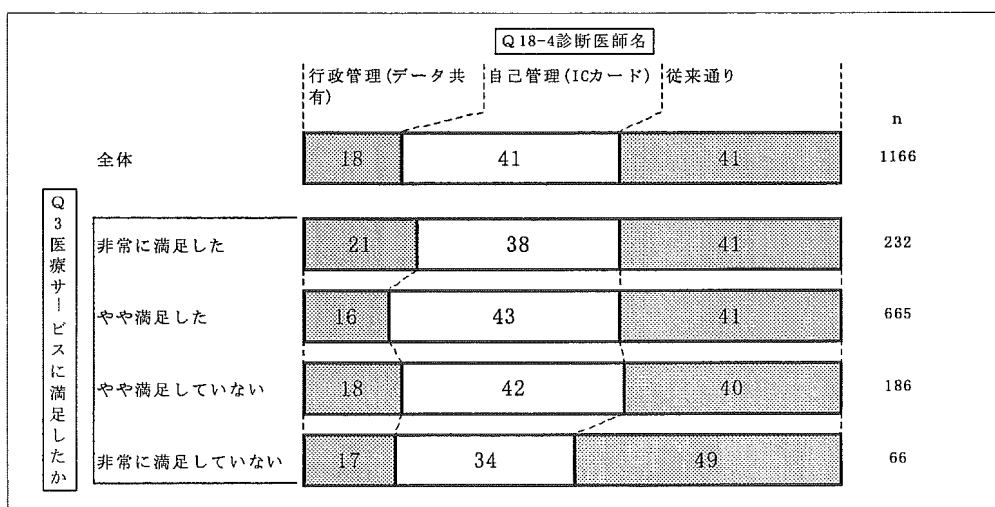
「診断機関名」の情報管理に関しては従来通りの方法が自己管理と同じくらいの数値を示している。これらを見てもわかる通り、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。従来通りの方法でよいという人の割合が多い理由として、「診断機関名」はそれほど重要な情報ではないと考えられる。このことは、非常に満足していない人の結果をみると、従来通りの方法と回答している人の割合が多いことから推測できる。

問3「満足」と問18-4「診断医師名」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。ー診断医師名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q18-4診断医師名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	204 17.9	467 41.0	469 41.1	26	
Q3に 満足 した 医療 サー ビス に 満足 した か	非常に満足した	232 100.0	48 21.3	85 37.8	92 40.9	7
	やや満足した	665 100.0	106 16.2	279 42.7	268 41.0	12
	やや満足していない	186 100.0	34 18.5	77 41.8	73 39.7	2
	非常に満足していない	66 100.0	11 17.2	22 34.4	31 48.4	2



<考察>

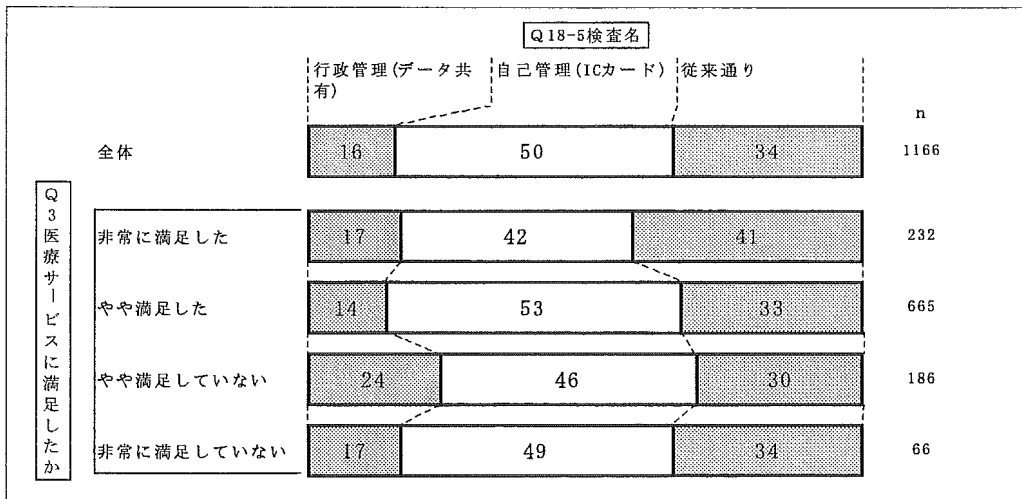
「診断医師名」の情報管理に関しては、「診断機関名」と同様に、従来通りの方法が自己管理と同じくらいの数値を示している。そして、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。従来通りの方法でよいという人の割合が多い理由として、「診断医師名」は「診断機関名」と同じくそれほど重要な情報ではないと考えられる。このことは、非常に満足していない人の結果をみると、従来通りの方法と回答している人の割合が多いことから推測できる。

問3「満足」と問18-5「検査名」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。－検査名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q18-5検査名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	186 16.3	563 49.3	394 34.5	23
Q3 医療 サー ビス に 満 足 し た か	非常に満足した	232 100.0	38 16.9	94 41.8	93 41.3	7
	やや満足した	665 100.0	91 13.9	351 53.6	213 32.5	10
	やや満足していない	186 100.0	44 23.9	84 45.7	56 30.4	2
	非常に満足していない	66 100.0	11 16.9	32 49.2	22 33.8	1



<考察>

「検査名」の情報管理に関して、全体では、自己管理の割合が高い値を示しており、特にやや満足した人の中で割合が高い。また、従来通りの割合が行政管理の割合より比較的高い値となっている。

自己管理と従来通りの割合を合わせた値をみると80%を超えており、これより情報の共有化の必要性は低いと考えられる。

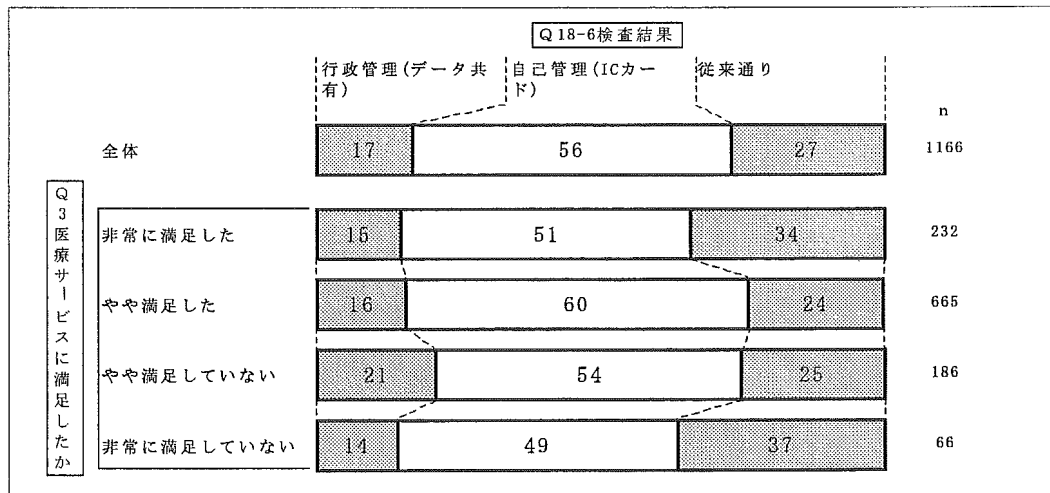
行政管理の項目に注目してみると、満足している・満足していないに関わらず全体的に低くなっている。患者にとって「検査名」は、共有化するというよりは、個人もしくは病院で管理するほうがよいと考えられる。

問3「満足」と問18-6「検査結果」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。ー検査結果について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q18-6検査結果				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	189 16.5	645 56.4	310 27.1	22	
Q3に満足した医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	34 15.1	115 51.1	76 33.8	7
	やや満足した	665 100.0	106 16.2	394 60.1	156 23.8	9
	やや満足していない	186 100.0	38 20.7	100 54.3	46 25.0	2
	非常に満足していない	66 100.0	9 13.8	32 49.2	24 36.9	1



<考察>

「検査結果」の情報管理について、全体では、自己管理の割合が56%と高い値を示しており、中でもやや満足した人の中で支持されている。また、従来通りの割合が行政管理の割合より高くなっている。

自己管理と従来通りを合わせた割合を見てみると80%を超えており、情報の共有化のニーズが低いことがわかる。

そして、行政管理の項目に注目してみると、満足している・満足していないに関わらず全体的に低くなっている。患者にとって「検査結果」は、共有化するというよりは、個人もしくは病院で管理するほうがよいと考えられる。

問3「満足」と問18-7「検査機関名」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。ー検査機関名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q18-7検査機関				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	203 17.8	487 42.8	448 39.4	28	
Q3に 医療 サービス に 満足 した か	非常に満足した	232 100.0	41 18.4	87 39.0	95 42.6	9
	やや満足した	665 100.0	109 16.7	295 45.2	248 38.0	13
	やや満足していない	186 100.0	41 22.3	77 41.8	66 35.9	2
	非常に満足していない	66 100.0	10 15.4	26 40.0	29 44.6	1

		Q18-7検査機関			n
		行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	
Q3 医療 サービス に 満足 した か	全体	18	43	39	1166
	非常に満足した	18	39	43	232
	やや満足した	17	45	38	665
	やや満足していない	22	42	36	186
	非常に満足していない	15	40	45	66

考察

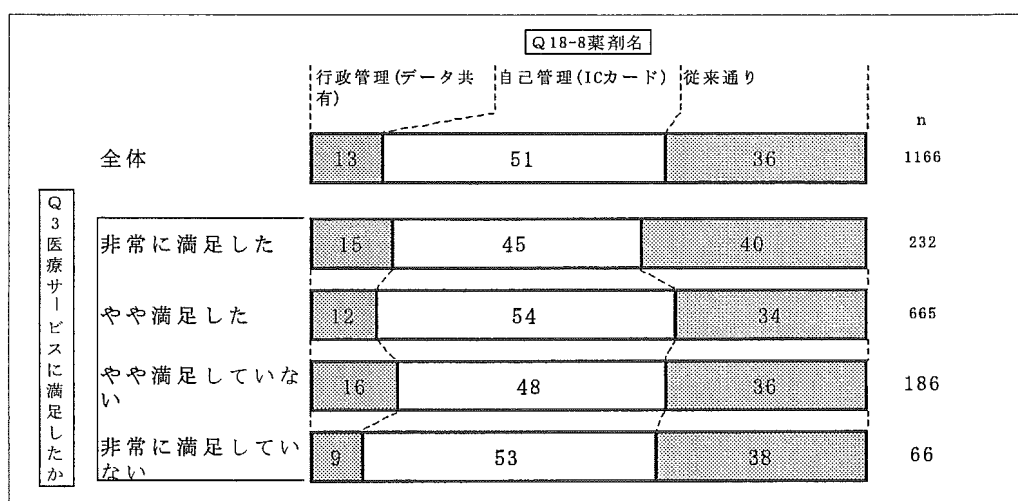
「検査機関名」の情報管理に関しては、「診断機関名」や「診断医師名」と同様に、従来通りの方法が自己管理と同じくらいの数値を示している。そして、自己管理・従来通りの方法でよいという人の割合は多く、やはり情報の共有化の必要性は少ないと考えられる。従来通りの方法でよいという人の割合が多い理由として、「検査機関名」は「診断機関名」・「診断医師名」と同じくそれほど重要な情報ではないと考えられる。このことは、非常に満足していない人の結果をみると、従来通りの方法と回答している人の割合が多いことから推測できる。

問3「満足」と問18-8「薬剤名」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。一薬剤名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q18-8薬剤名			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	151 13.2	578 50.7	412 36.1	25
Q3 満足 した か サービス	非常に満足した	232 100.0	34 15.1	102 45.3	89 39.6	7
	やや満足した	665 100.0	80 12.2	351 53.7	223 34.1	11
	やや満足していない	186 100.0	30 16.4	88 48.1	65 35.5	3
	非常に満足していない	66 100.0	6 9.2	34 52.3	25 38.5	1



<考察>

「薬剤名」の情報管理について、全体では、自己管理の割合が高い値を示しており、また、従来通りの割合が行政管理の割合より全体的に高くなっている。

自己管理と従来通りを合わせた割合を見てみると85%を超えており、情報の共有化のニーズが低いことがわかる。

そして、行政管理の項目に注目してみると、満足している・満足していないに関わらず全体的に低くなっている。患者にとって「薬剤名」は、共有化するというよりは、個人もしくは病院で管理するほうがよいと考えられる。

問 36-9 「薬剤アレルギー歴」と「満足」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。ー薬剤アレルギー歴について」

「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

	合計	Q 18-9 薬剤アレルギー歴				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	129 11.3	577 50.7	433 38.0	27	
Q 3 医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	25 11.2	106 47.3	93 41.5	8
	やや満足した	665 100.0	67 10.3	345 52.8	241 36.9	12
	やや満足していない	186 100.0	30 16.4	87 47.5	66 36.1	3
	非常に満足していない	66 100.0	6 9.2	31 47.7	28 43.1	1

Q 3 医療サービスに満足したか	Q 18-9 薬剤アレルギー歴			n
	行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	
全体	11	51	38	1166
非常に満足した	11	47	42	232
やや満足した	10	53	37	665
やや満足していない	16	48	36	186
非常に満足していない	9	48	43	66

考察

「薬剤アレルギー歴」の情報管理について、全体的に「薬剤名」と類似しており、自己管理の割合が高く、また、全体的に従来通りの割合が行政管理の割合より高くなっている。

自己管理と従来通りを合わせた割合を見てみると約 89%となっており、情報の共有化のニーズが低いことがわかる。

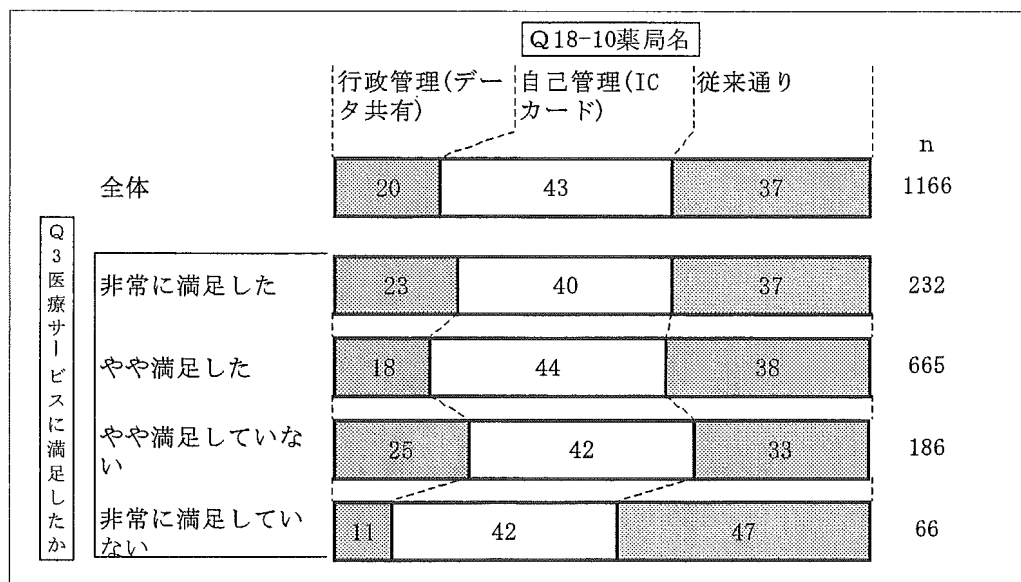
そして、行政管理の項目に注目してみると、満足している・満足していないに関わらず全体的に低くなっている。患者にとって「薬剤アレルギー歴」は、共有化するというよりは、個人もしくは病院で管理するほうがよいと考えられる。

問 36-10 「薬局名」と「満足」のクロス集計分析

質問方法：

「あなたは自分の医療情報をどのように管理したいと思いますか。一薬局名について」  
 「治療を受けた病院の医療サービスに満足しましたか」

		合計	Q 18-10 薬局名			
			行政管理(データ共有)	自己管理(ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	222 19.5	492 43.3	422 37.1	30
Q 3 医療サービスに満足したか	非常に満足した	232 100.0	51 22.7	91 40.4	83 36.9	7
	やや満足した	665 100.0	115 17.7	291 44.8	244 37.5	15
	やや満足していない	186 100.0	45 24.7	77 42.3	60 33.0	4
	非常に満足していない	66 100.0	7 10.8	27 41.5	31 47.7	1



考察

「薬局名」の情報管理については、全体では、自己管理と従来通りの割合はほぼ近い値となっており、従来通りの割合が全体的にやや高くなっている。

また、自己管理と従来通りを合わせた割合を見てみると、ここでもやはり 80%を超えており、患者にとって「薬局名」は共有化する必要性は少ないと考えられる。

非常に満足していない人に注目してみると、行政管理の割合が約 11%と非常に小さく、従来通りの割合が 47%と自己管理よりも高い値を示している。サービス向上を一番望んでいるはずの非常に満足していない人を参考にするならば、「薬局名」は病院もしくは自己管理し、共有化する必要性はかなり低いと考えられる。



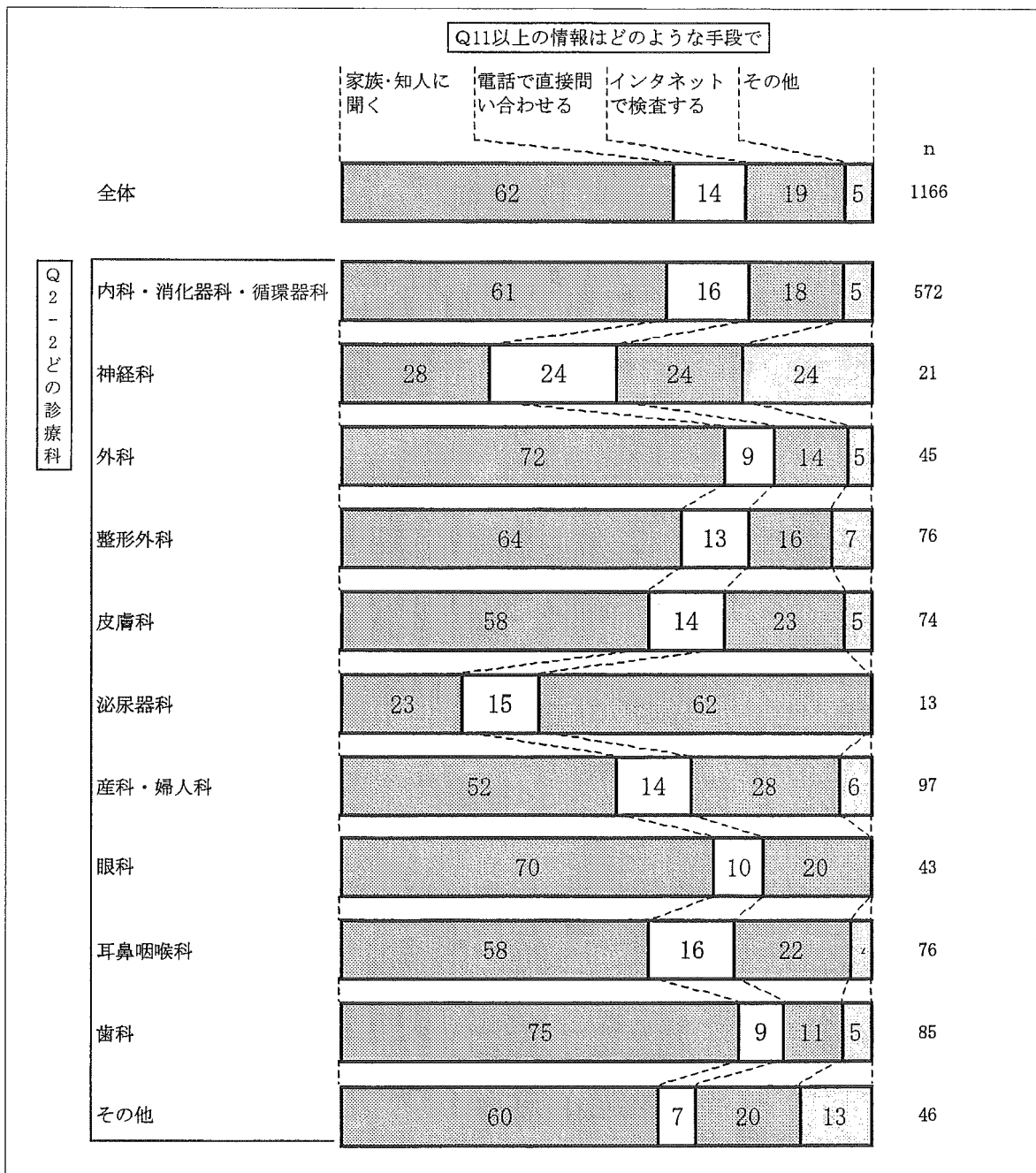
問 2-2 「どの分野の診療科」と問 11 「調べた手段」のクロス集計分析

質問方法：

「以上(Q29)のような情報をあなたは今まで主にどのような手段で手に入れていますか？」

「どのような手段で」

		合計	Q11以上の情報はどのような手段で				
			家族・知人に聞く	電話で直接問い合わせる	インターネットで検査する	その他	不明
全体		1166 100.0	706 61.0	165 14.3	223 19.3	63 5.4	9
Q 2   2 ど の 診 療 科	内科・消化器科・循環器科	572 100.0	348 61.3	92 16.2	101 17.8	27 4.8	4
	神経科	21 100.0	6 28.6	5 23.8	5 23.8	5 23.8	0
	外科	45 100.0	32 72.7	4 9.1	6 13.6	2 4.5	1
	整形外科	76 100.0	49 64.5	10 13.2	12 15.8	5 6.6	0
	皮膚科	74 100.0	43 58.1	10 13.5	17 23.0	4 5.4	0
	泌尿器科	13 100.0	3 23.1	2 15.4	8 61.5	0 0.0	0
	産科・婦人科	97 100.0	50 51.5	14 14.4	27 27.8	6 6.2	0
	眼科	43 100.0	29 70.7	4 9.8	8 19.5	0 0.0	2
	耳鼻咽喉科	76 100.0	44 57.9	12 15.8	17 22.4	3 3.9	0
	歯科	85 100.0	64 75.3	8 9.4	9 10.6	4 4.7	0
	その他	46 100.0	27 60.0	3 6.7	9 20.0	6 13.3	1



<考察>

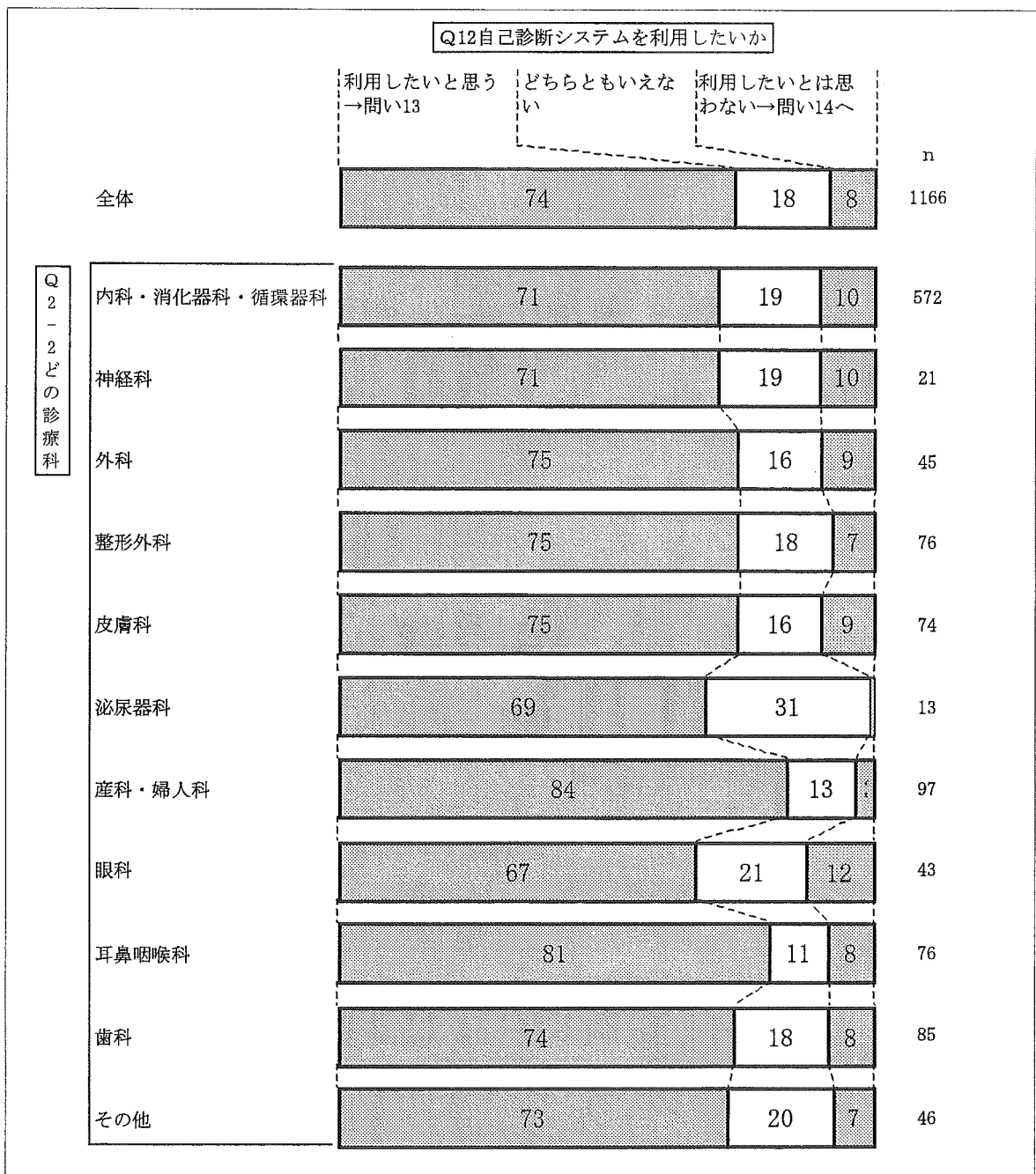
神経科、泌尿器科は家族知人等に聞きにくいようであり、電話での問い合わせ、インターネットで調べる割合が極端に高くなっている。かかる診療科の種類によって人に聞きやすいか否かが異なってくると考えられる。このことが病状を調べる手段に影響してくるということがクロス集計から読み取れる。

・問 2-2「どの分野の診療科」と問 12「自己診断システムを利用したいか否か」のクロス集計分析

質問方法：

「あなた自身や家族の体調が悪いときに、インターネット上で公的な機関が提供するある程度の病状を「自己診断できる仕組み」があるとします。あなたは利用したいと思いますか？」

		合計	Q12自己診断システムを利用したい			
			利用したいと思う →問13	どちらともいえない	利用したいとは思わない →問14へ	不明
全体		1166 100.0	858 73.9	205 17.7	98 8.4	5
Q 2   2 ど の 診 療 科	内科・消化器科・ 循環器科	572 100.0	407 71.5	106 18.6	56 9.8	3
	神経科	21 100.0	15 71.4	4 19.0	2 9.5	0
	外科	45 100.0	34 75.6	7 15.6	4 8.9	0
	整形外科	76 100.0	57 75.0	14 18.4	5 6.6	0
	皮膚科	74 100.0	55 74.3	12 16.2	7 9.5	0
	泌尿器科	13 100.0	9 69.2	4 30.8	0 0.0	0
	産科・婦人科	97 100.0	81 83.5	13 13.4	3 3.1	0
	眼科	43 100.0	28 66.7	9 21.4	5 11.9	1
	耳鼻咽喉科	76 100.0	62 81.6	8 10.5	6 7.9	0
	歯科	85 100.0	63 74.1	15 17.6	7 8.2	0
	その他	46 100.0	34 73.9	9 19.6	3 6.5	0



<考察>

自己診断システムを利用したいかどうかという問いについては産婦人科、耳鼻咽喉科が他の診療科と比べ、高い割合となっているという事ができる。ただし、これらの診療科が飛びぬけて高いわけでもなく、診療科の共通性も見えないためそれほど診療科ごとによって差異はないと考えてもいいのではないかと。